KYOTO
DESIGN AWARD
2020

京都デザイン賞 2020

入賞・入選作品

公益社団法人 京都デザイン協会

beyond
2020
京都文化力

ごあいさつ

京都デザイン協会は、第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として、1967年5月に京都デザイン協議会として発足、1979年に京都デザイン協会と改名、1981年に社団法人京都デザイン協会に移行し、2013年6月には公益社団法人京都デザイン協会の認可を受け活動を継続しています。

「京都デザイン賞」の入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として公募し、応募された作品の中から、審査により厳選された作品です。

第12回の今回は98点の応募作品から、26点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞　大賞、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞、京都新聞賞、課題部門3課題への各賞、そして「学生賞（画箋堂賞）」をそれぞれ1点ずつ選出させていただきました。

また今回は、コロナ禍で全ての活動が縮小、中止を余儀なくされる中、出品者はもとより、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人のみなさまのご理解とご協力のおかげで、ここに「京都デザイン賞2020」の入賞・入選作品をご紹介させていただけますことを、あらためて感謝申し上げます。

私たちは今後とも「京都デザイン賞」で選出した優秀な作品を、「京都発21世紀の大きな波」として日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2020年11月

主催者代表　公益社団法人 京都デザイン協会

理事長　奈良 磐雄

開催趣旨

京都には1200年の歴史が培った魅力的なデザインが多数存在しています。それらは現代においても引用され、新たな作品や商品開発に繋がっています。京都デザイン賞2020では、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザインの創出を図る作品を募集しました。

審査基準

◆ 斬新な京都のイメージを創出している。
◆ 独創性がある。
◆ 使いやすい配慮がなされている。
◆ 新素材、技術に挑戦している。
◆ 環境への配慮がなされている。

※全てに当てはまらなくても可

審査員

奈良磐雄 公益社団法人京都デザイン協会理事長　<審査委員長>
新井清一 建築家・京都精華大学教授
滝口洋子 京都市立芸術大学教授
中島信也 (株)東北新社取締役副社長・CMディレクター、武蔵野美術大学客員教授
久谷政樹 グラフィックデザイナー・京都造形芸術大学名誉教授
村田智明 (株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役、神戸芸術工科大学客員教授、九州大学非常勤講師
京都府、京都市、京都商工会議所
京都デザイン協会正会員

審査講評

新井 清一

（建築家・京都精華大学教授）

本年度の京都デザイン賞の第1部門である建築・ランドスケープ・インテリア・ディスプレイの応募数は比較的多かった。この部門の作品は、現物のサイズとしての展示はそのスケール故出来ない。1枚のパネル、模型に依っての表現がなされる。他方、その他の部門作品は現物展示があり、直にその表現、ものとしての対応が伝わってくる。このように、京都デザイン賞の特色は何と云っても、多くの他部門の作品群が同じ審査の机上に於いて選出される事にあろう。その意味で、審査には面白みもあり、また反面審査での基準をしっかり持たずとしての評価は難しいと思える。選考された作品群からの選出には特に京都のイメージ、独創性、素材、環境が関連する相関性を基準として審査にあたった。

大賞を受賞した「ウェスティン都ホテル京都／チャペルリノベーション」の魅力は、無垢木材のルーバーのリズム、格子組天井から差し込む木洩れ陽、及びバージンロードの軸線上の石の存在等が醸しだす空間デザインに他ならない。

「THE HIRAMATSU 京都」「三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺」「立誠ガーデン ヒューリック京都」は、京都という歴史、町家、お寺の要素をそれらの培ってきた財産としての空間、素材を新旧の要素を混在させながらデザインされており、京都デザイン賞の審査基準に沿った作品である。細長敷地を生かした、「新たな京町家の作り方。」は10㎝しかない極狭敷地隣地との間にパネル施工による構法を用い、空間確保を可能にした作り方の提案として受け止められる。

学生賞の「橋上の町家」は、木造の橋梁として提案のみならず、公共の場としての空間を促した学生作品らしい作品であり、細部に配慮された模型、図面、ダイヤグラムがプレゼンテーションのマテリアルとして完成度の高い作品であった。

このように俯瞰してみても各々の作品が、デザイン意図は違いつつも、京都という独特な魅力を遺憾なく醸し出しているのは一目瞭然であろう。

滝口 洋子

（京都市立芸術大学教授）

第3部門入選作品の「eninaru」は着物を軸に SNS、出版、ユーザー参加型のイベントなど多方面への発信を行っています。若いクリエイターの集団が流通や生産方法にも新しい試みを提案しておりこれからの活躍がとても楽しみです。

「和紙糸から生まれるテキスタイル」は太番手の和紙糸を編み上げさらに顔料と箔でプリントを施した生地の提案です。バッグなどのファッション小物にと企画されたそうですが、軽く柔らかな風合いは空間への展開も期待できると評価されました。

「Re:TSURU（リツル）」は折鶴の折り目を文様として着目しアイテム展開をしているブランドです。古来より人々が願いを込めてきた折鶴の美しい折り目が新しく生まれ変わりました。 これらのように今年の第3部門は素晴らしい作品が集まりまた部門内にとどまらない今後の可能性が感じられました。

京都デザイン賞の審査基準の最初に挙げられている「斬新な京都のイメージの創出」は今年も大賞をはじめ入賞入選作品にそれぞれの形で表現されていました。それは技術力であったり伝統の再解釈であったり、古都ならではの建築物や街の問題解決など切り口は様々です。しかしジャンルや視点は異なりながらも作品が一同に集まると、これからのデザインに再度求められる「美しさ」という視座が感じられ、京都デザイン賞は独自のイメージを持ち始めたと思います。

中島 信也

（株式会社東北新社取締役副社長／CMディレクター
武蔵野美術大学客員教授）

マスクとアルコール消毒、密を避けて、という警戒態勢のなか、黙々と作品に向き合う。こんなに自分自身に問いかける審査は初めてだった。その作品の良し悪し以前に「デザインとは何なのか」「都市とは何なのか」「衣食住とは何なのか」人とはいったい何なのか。コロナが問いかけてきているのか？僕はじっと自分に問いかけていた。

今回の応募作品のほとんどはコロナ以前に作られたものかもしれない。しかしコロナの時代に存在するものであることは間違いない。今、この作品たちはこの世界の中に存在してどうなのか。コロナ禍の前に吹けば飛ぶようなものではないのか。そういう不安が全くなかったと言えば嘘になる。しかし、デザインの力はしぶとかった。

素晴らしい作品たちを選ぶことができたと思う。このような状況下で何より感じたのは造形による表現のたくましさだ。大賞に輝いたチャペルの内装。そこはかと京都の繊細さを感じさせる木の組み込みと石壁とのコントラスト。関係者の決断と勇気、そしてそのデザインに感動した。これだけではない。円形の会場に並ぶデザインたちが、少し臆病になっている僕のクリエイティブ魂に再び勇気を与えてくれた。デザインはこの時代を生き抜く勇気の灯火であることを実感した。

その根底に、数多くの禍をかいくぐって生き延びてきた「都のちから」が働いていたかどうかは定かではない。しかし、京都は強い。京都デザイン賞は負けない。今年の作品群の作者たちに大きな敬意を払うとともに、来年こそ勝負の年になるという覚悟を持って今年の作品群を讃えたい。おめでとうございます。

久谷 政樹

（グラフィックデザイナー・京都造形芸術大学名誉教授）

今年もそうでしたが、ポスターやロゴマーク、パッケージやお店のサイン、などグラフィックデザインの領域からの応募がめっきり減ってきていて、ちょっと寂しい思いをしました。

しかし若い芽もあちら、こちらに芽吹いて期待を持って審査会に臨めました。

課題によるデザイン提案（ボトルラベル、パッケージング）。伏見の清酒・都鶴賞の西舘若菜さんのラベルデザインは、白黒のシンプルで大胆なトリミングが印象的。光琳文様を思わせるデザイン。他、入選では、宍甘ひなたさんの歴史上の有名人をユーモラスにとらえたラベルシリーズ。新開美優さんの麻の紋のシンプルな魔除け（形が面白い）の文様。花房里奈さんの二羽の鶴の舞を文様風に表現。などが印象に残りました。

課題によるデザイン提案。京とうふ藤野賞の「いちまつとうふ」は、とうふを市松模様にカットして並べ直して食す新しい提案です。技術的な問題点は多く感じますが商品開発の可能性は大いにあると思います。

また、全体の中で特に記憶に残るものもあります。「櫛」「刃物」を包む京都式貼箱（京貼箱）を用いたパッケージングの提案です。伝統とモダンを融合させたとてもカッコいい箱です。

村田 智明

（株式会社ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
神戸芸術工科大学客員教授、九州大学非常勤講師）

京都府知事賞のソリッドハニカムテーブルは、アルミを削り出してハニカム構造を作っているため、強度を保ちながら、外周で肉厚2ミリ中心部で12ミリと言う世界最薄レベルのスタイリングが実現している。このミニマルな美しさと亀甲文様のハニカム構造に、京都らしいモノづくりに対するプライドを感じ取る事ができる。是非シリーズ展開を図ってほしいデザインだ。

京の和文具賞のPOCHI BAGS (ポチ綴り)は、ポチ袋のコンサバ化した常識を覆すアイデアだ。個別のポチ袋が5枚入りなどでアソートされてフィルムに入っているケースが多い中、ポチ袋が綴りとじになっていて、気に入った柄をちぎって取り出す仕様になっている。スリットから少しだけ中の柄が見える上品なデザインが、実に京都らしい。

入選した「プリーツのお皿」は、手でプリーツ面を押しながら自由に形を作り、和菓子を入れたり、アクセサリーを入れたりできる紙皿。京懐紙の専門らしく耐油耐水紙を使ったこのプリーツの紙皿は、食品が付着しにくい機能性も考慮している。控え目でシンプルなパッケージの中に角柱となって畳まれたプリーツとは裏腹に、拡げていくほどに色や形が変化していく様が実に楽しい。

入選したSOMÉPAD（染めパッド）は、ペンやマーカーの裏抜けしない無地のノートのため、両面使いができるのが魅力だ。和綴じや金銀の染色、帯POPが高級感を生んでいる。

また、表紙のグラフィックは手擦染によって2種の伝統柄が組み合わされ、モダンでいてどこか懐古的な品が伝わるデザインとなっている。

大賞　＜第１部門＞

The Westin Miyako Kyoto / Chapel Renovation

香取建築デザイン事務所
香取 武則・羽原 ふみ

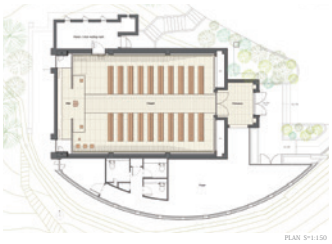
創業130年を迎えたウェスティン都ホテル京都は、京都東山の麓にある歴史と伝統を誇る格調高いホテルです。約２年の歳月をかけた耐震補強を伴う大規模リニューアルは、敷地内の「離れ」のような独立性の高いチャペルにも同様の品位と質が求められました。既存の骨格を最大限に活かし、間接照明と天井の木製格子を組合せて、天空から光が降り注ぐ木洩れ陽を表現し、開口部の改修により背景となる森への繋がりを強調させています。奥行感やリズム感を生み出す壁面の木製ルーバーは、天井の木製格子と連続させて空間全体の一体感を創り出すと共に、チャペルに相応しい落ち着いた良好な残響音を生み出しています。豊かな土地への敬意を払い、自然石や無垢木材を中心に設え、日本古来の美意識が息づく神聖な空間を目指しました。

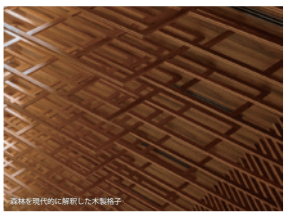
香取建築デザイン事務所
〒157-0073 東京都世田谷区砧4-31-6 ドムス砧公園402
TEL：03-6411-8376　FAX：03-6411-8379
URL：https://www.katori-ada.com/
E-mail：info@katori-ada.com

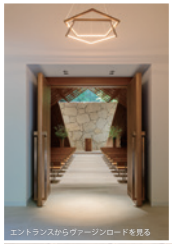
「チャペル×京都」の新しいあり方をデザインし、天然素材の質感を損なわずに防火性能を確保するなど、ケミカル素材に頼らないサステナブルなものづくりを心掛けた。

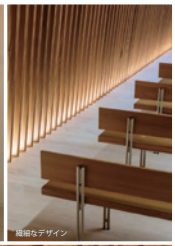
The Westin Miyako Kyoto Chapel Renovation
ウェスティン都ホテル京都 チャペルリノベーション

創業 130 年を迎えたウェスティン都ホテル京都は、京都東山の麓にある歴史と伝統を誇る格調高いホテルです。約２年の歳月をかけた耐震補強を伴う大規模リニューアルは、敷地内の「離れ」のような独立性の高いチャペルにも同様の品位と質が求められました。既存の骨格を最大限に活かし、間接照明と天井の木製格子を組合せて、天空から光が降り注ぐ木洩れ陽を表現し、開口部の改修により背景となる森への繋がりを強調させています。奥行感やリズム感を生み出す壁面の木製ルーバーは、天井の木製格子と連続させて空間全体の一体感を創り出すと共に、チャペルに相応しい落ち着いた良好な残響音を生み出しています。豊かな土地への敬意を払い、自然石や無垢木材を中心に設え、日本古来の美意識が息づく神聖な空間を目指しました。


PLAN S=1:150

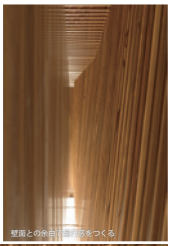

森林を現代的に解釈した木製格子


エントランスからヴァージンロードを見る


端正なデザイン

自然光のような天空から光が降り注ぐ木洩れ陽を表現

自然石による荘厳的な石積み


壁面との余白による一体感をつくる

ルーバーの配置に「揺らぎ」を与え、残響音を分散させている

祭壇は十字架で様々な挙式に対応可能

統一されたデザインの什器類

「天然木×不燃処理」の質感を損なわずに防火性能を確保

京都府知事賞 ＜第４部門＞

ソリッドハニカムテーブル

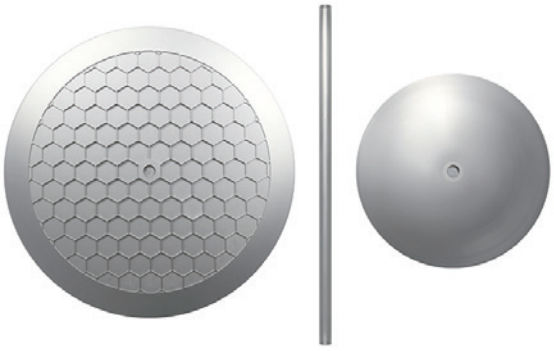
コアマシナリー株式会社

京都府福知山市のアルミニウムの工場で作られている世界最薄レベルのテーブル。天板の中央の厚さは12mm、先端はわずか2mmの薄さだ。テーブルの裏面を六角形の模様に精密に削り出し、超軽量、高剛性の機能美を実現した。将来的には切削工程で生じるアルミ切粉の100%再利用を目指す。航空機にも採用されるハニカム構造は、意外にも日本の伝統文化と結びつく。普段は見えない着物の裏側にこだわる粋の精神が、天板の裏面の亀甲柄に潜む。京都が誇る、最先端技術と吉祥文様の融合だ。

販売価格：未定
商品販売店舗：未定

コアマシナリー株式会社
〒620-1444 京都府福知山市三和町芦渕小字琴ヶ瀬777
TEL：0773-58-2180　FAX：0773-58-3745
URL：https://www.coremachinery.co.jp/
E-mail：info@coremachinery.co.jp

構成部品　（ねじ込み接合で組立）



天板　　支柱　　ベース

羽裏の美学
普段は見えない着物の裏側にこだわる粋の精神

ハニカム構造
ハニカムパターンは吉祥模様の亀甲柄にも通ずる

天板直径 600mm、先端厚さ 2mm、中心厚さ 12mm、支柱直径 25mm、ベース直径 400mm、高さ 700mm、重さ 4.6kg

京都市長賞　＜第１部門＞

THE HIRAMATSU 京都

NTT都市開発株式会社　株式会社日建設計　株式会社大林組　中村外二工務店

京都の歴史と文化が息づく祇園祭の山鉾町に建つ、明治32年築の京町家を施設の一部として保存活用したホテルの計画。京町家は、保存修復や維持管理の難しさから、高層ビルに建替わる事案が多いが、その佇まいはまちが重ねた歴史を表徴し、京都の厳しい美意識の中で鍛えられた手仕事の仕上げや空間性は継承すべき文化を内包する。本計画では町家建築の平面構成を踏襲し、光と風、緑の演出要素を組合せ、庭と建築、インテリアを統合して、新旧が融合した美しい空間性と生活様式を施設の中に再構築した。室町通りに面する表家は構造補強を行い現況保存し、高層部は後退させて圧迫感を抑え、背景として設えることで、この建物がずっとこの場所にあったかのように穏かで、それでいて新しく創出された京の街の景色を目指した。既存建屋の生捕材は丹念に調査して腐朽を修復し、新築建物に取込んだ。歴史ある建物に敬意を払い、不足なく余すことなく素材も作法も活かし切る。そうしたことが次代へと繋がっていくことを願っている。

THE HIRAMATSU 京都
24,000円～172,000円（1名様・素泊・税別）
〒604-8174 京都市中京区室町通三条上る 役行者町361
TEL：075-211-1751　FAX：075-211-1753
URL：https://www.hiramatsuhotels.com/kyoto/
E-mail：hhk@hiramatsu.co.jp

京都商工会議所会頭賞

三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺

株式会社日建スペースデザイン
インテリアデザイン：片山 賢、九十九 優子、橋口 幸平、周 セイブン／映像：石井 雄太、齊田 悟之

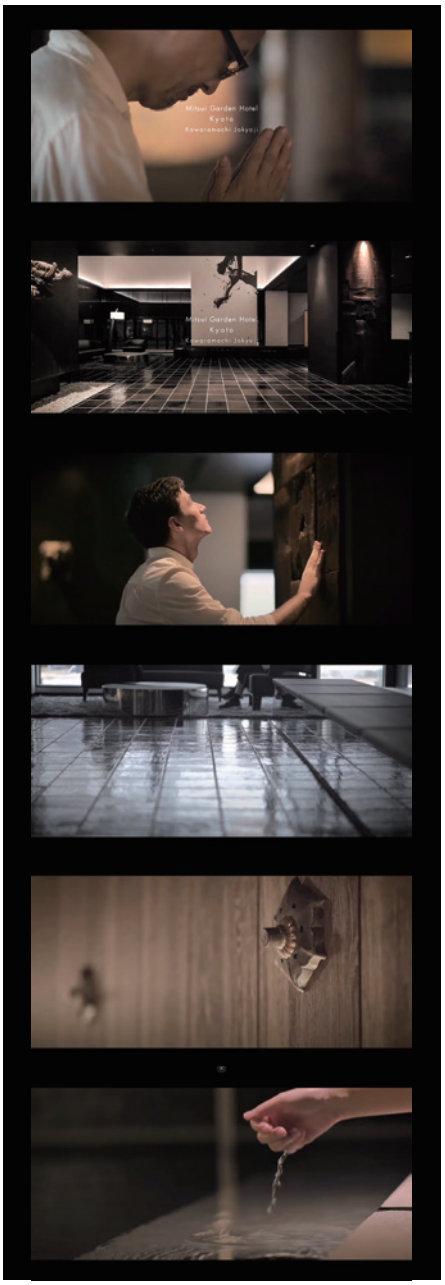
京都・寺町通りの浄教寺建て替えにあたり一体開発されたホテルであり、寺院を次世代へ継承させる新たなモデルケースとなるプロジェクト。 鐘籠堂浄教寺という名称の通り、本堂は48基の鐘籠により光と影が織りなす荘厳な空間です。ホテルのインテリアデザインもその静寂な気に包まれるような空間を目指し、内装・家具・アート全て白黒のワントーンで「明るみ」と「暗やみ」を表現しました。また、浄教寺に使われていた工芸的な建築部品を各所に配し、長い年月が醸し出す陰影で場に奥行を与えています。 映像では、お寺を訪れる人、ホテルを訪れる人、受け継いできた人々の紡がれていく“ 想い ”を大切に、京都らしさ、浄教寺らしさを追及しました。

https://www.youtube.com/watch?v=9a7zkSlXB_g

＜第１部門＞

株式会社日建スペースデザイン
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-27
TEL：03-5689-3264　FAX：03-5689-3265
URL：https://nspacedesign.co.jp/
E-mail：webmaster_sd@nikken.jp

＜第５部門＞



“ホテルと一体となり 次世代へと継承されるお寺”と“余白を大切にした、詰め込まない世界をコンセプトにデザインされたホテル”。
お寺を訪れる人、ホテルを訪れる人、受け継いできた人々の紡がれていく“ 想い ”を大切に京都らしさ、浄教寺らしさを追及した映像作品。

渋滞しない四条通案

有限会社藤原篤建築・都市設計研究所
藤原 篤

2015年から烏丸～河原町間の四条通が片側1車線となり、渋滞が日常化し、何らかの改善が必要とされてきた。この「渋滞しない四条通案」は、これまでの問題を解決し、安全で歩いて楽しい、世界都市京都の顔となることのできる、魅力ある京都のメインストリートの提案である。

＜現状と問題点＞〇バスがバス停で止まると、後続車が全部止まってしまう。〇違法なはみだし追い越しが横行し、つねに正面衝突の危険がある。〇「世界人気都市ランキングNo.1の京都」の景観として、現状の歩道のデザインは、まったく魅力がない。

＜デザインコンセプト＞〇片側１車線、車道巾９ｍが確保されたゆったりと曲がった通りとなり、車両巾2.5mのバス同志も楽々すれ違うことができる。〇バスのハンドルを切る際の軌跡特性を利用し、通りのふくらんだ部分に三角形のバス停をつくる。〇歩道の三角形の部分に待ち行列を滞留させ、降りる人はサーッと歩道の流れに出ていくことができる合理的配置となっている。〇バス停部の舗道で最も幅の広い部分は6.6mで、平均するとバス停での歩道幅は5.4mとなり、当初の歩道幅3.5mの1.54倍である。〇歩道の膨らんだ部分には木陰やベンチを設け、腰を下ろしてくつろげる空間とし、案内マップなどのインフォメーションが設置され、旅行者が次にどこへ行こうかと座って考えたり、水を飲んだりすることができる。〇「世界の京都」のメインストリートにふさわしい、美しく潤いのある四条通となる。

有限会社藤原篤建築・都市設計研究所
〒610-1143 京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地12-102
TEL：075-332-3070　FAX：075-332-3070
URL：http://www17.plala.or.jp/afujiwara/index.html
E-mail：afujiwara@white.plala.or.jp

渋滞しない四条通案

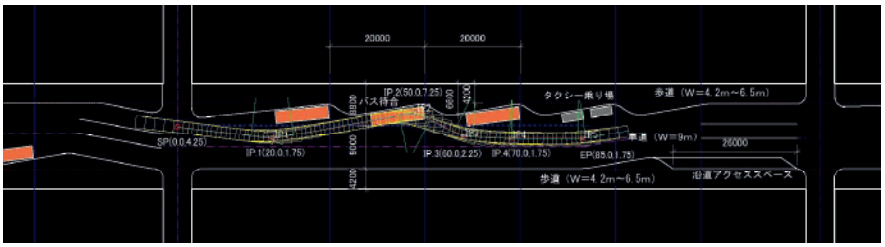
2015年から烏丸～河原町間の四条通が片側1車線となり、渋滞が日常化し、何らかの改善が必要とされてきた。この「渋滞しない四条通案」は、これまでの問題を解決し、安全で歩いて楽しい、世界都市京都の顔となることのできる、魅力ある京都のメインストリートの提案である。

＜現状と問題点＞

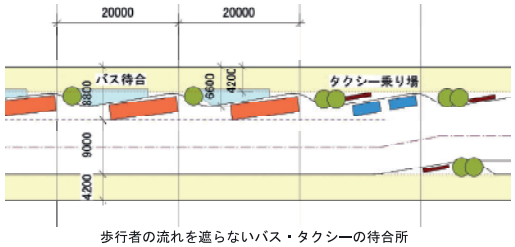
〇バスがバス停で止まると、後続車が全部止まってしまう。

〇違法なはみだし追い越しが横行し、つねに正面衝突の危険がある。

〇「世界人気都市ランキングNo.1の京都」の景観として、現状の歩道のデザインは、まったく魅力がない。



後続車の流れを遮らないバスの軌跡（シミュレーション）



歩行者の流れを遮らないバス・タクシーの待合所

木陰、ベンチ、案内板のあるバス待合

＜デザインコンセプト＞

〇片側１車線、車道巾９ｍ（一般市街地道路の基準は6.5m：国土交通省近畿地方整備局）が確保されたゆったりと曲がった通りとなり、車両巾2.5mのバス同志も楽々すれ違うことができる。

〇バスのハンドルを切る際の軌跡特性を利用し、通りのふくらんだ部分に三角形のバス停をつくることができる。

〇歩道の三角形の部分に待ち行列を滞留させ、降りる人はサーッと歩道の流れに出ていくことができる合理的配置となっている。

〇バス停部の舗道で最も幅の広い部分は6.6mで、平均するとバス停での歩道幅は5.4mとなり、当初の歩道幅3.5mの1.54倍である。

〇歩道の膨らんだ部分には木陰やベンチを設けることができ、腰を下ろしてくつろげる空間とすることができる。

〇バス停待合には案内マップなどのインフォメーションが設置され、旅行者が次にどこへ行こうかと座って考えたり、水を飲んだりすることができる。

〇「世界の京都」のメインストリートにふさわしい、美しく潤いのある四条通となる。

伏見の清酒・都鶴賞

<第６部門-①>

伏見の清酒「都鶴」

西舘 若菜

色は全体的に黒白金ですっきりまとめ、日本の上品な要素と、米を連想させる色合いとしました。 構図は切り抜きを活用し、京都の上空、雲を翼で打ちつけて飛翔する鶴をイメージしました。 切り抜きを使用することで、瓶そのものの黒を構図に取り込みました。 外国人向けということで公用語として広く用いられる英語を使って商品名を表記しました。 金を用いているのが文字だけと、面積が小さいのは、稲穂のたおやかさ、日本の慎ましさを表現するためです。

URL：https://wakana0517aaa578d.myportfolio.com/wakana-nishidate-portfolio
E-mail：wakana0517aaa@icloud.com

京とうふ藤野賞

<第６部門-②>

いちまつどうふ

岡野 愛子（帝塚山大学）

京都の華やかさと美しさを連想させるいちまつ模様のお豆腐が登場。これ１つで2種類の味を楽しめ、切り方次第で模様もチェンジ。味も見た目もあなたのお好きなままに。

京の和文具賞

<第６部門-③>

ぽち綴り

株式会社オフィスオフサイド
髙橋 真一

株式会社オフィスオフサイド
〒460-0008 名古屋市中区栄3-8-21
伊勢町平和ビル7F
TEL：052-241-5881　FAX：052-241-5661
URL：https://www.offside.ne.jp/st/
E-mail：s-takahashi@offside.ne.jp

ぽち袋を装丁した「ぽち綴り」。使うほどに小窓から覗く絵柄の変化を楽しみながら、引き出しや鞄の中など、いつまでもばらつくことなく品の良さを保てる、スマートで愛らしい「京もの」アイテムです。

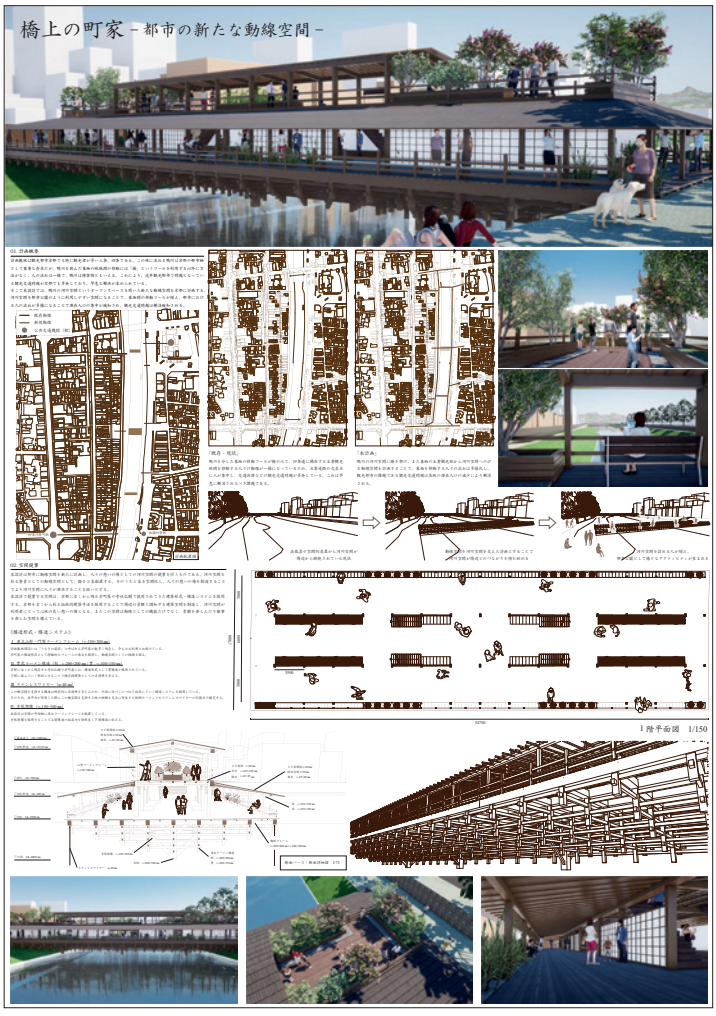
学生賞（画箋堂賞）

<第１部門>

橋上の町家　―都市の新たな動線空間―

山崎 稜(滋賀県立大学大学院)

計画敷地は観光都市京都でも特に観光者が多い三条、四条である。この地に流れる鴨川は京都の都市軸として重要な存在だが、鴨川を挟んだ東西の地域間の移動には「橋」というツールを利用する以外に方法がなく、人の流れは一様で、鴨川は障害物ともいえる。これにより、近年観光都市で問題となっている観光交通問題が京都でも多発しており、早急な解決が求められている。 本設計では、鴨川の河川空間というオープンスペースを用いた新たな動線空間を京都に計画する。鴨川など都市に流れる河川は、昔は水場としての利用や舟を用いた運搬作業など、人々の生活や営みに欠かせない存在であった。しかし現代日本では、河川はどの都市でも一様に景観としてのみの存在となってしまっている。京都は明治期から続く納涼床文化により河川空間の間接的な利用やそれによる親水性を得ているが、それ以外での河川空間の利用方法としては散歩や一時の休憩スペースなどであり、積極的な利用は見られない。そこで河川空間というオープンスペースを用いた動線空間を新たに計画することで、鴨川を挟んだ東西間の移動ツールが増え、都市における人の流れが多様になることが予想される。そのことにより、各地点の滞在人口の集中が緩和され、観光交通問題は解消・緩和される。今回提案する空間は、鴨川の河川空間に動線を繋ぎ、河川空間の積極的な利用を可能にする橋である。これは主に人々を河川空間に導く動線ツールとしての利用だけではなく、路上ライブなど敷地周辺に見られる公共的な催事に活用できる広場空間や鴨川と周辺の景観を日頃と異なる視点での眺めを望む空間を有する公共的空間である。 現代日本では、河川法により一級水系から暗渠に至るまで、河川の上部には人が滞在する非公共的空間（住居や商業施設など）を設けてはならないとされてきた。しかし近年の都市における人口集中などの観点から、河川空間というオープンスペースを利用した商業施設などを仮設的に設けてもよいとする「都市および地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例（河川空間のオープン化の特例）」が平成23年に施行された。この特例法により仮設空間の設置は可能になったものの、未だ常設空間は許可されていない。本設計が社会的に評価され、河川空間を利用した都市的まちづくりが促進されることを願う。



入選　＜第１部門＞

立誠ガーデン　ヒューリック京都

株式会社竹中工務店
森山 悟、中村 圭祐、足立 裕己、奥田 祐大

1926年に竣工し、80年にわたって地域に親しまれてきた京都の旧立誠小学校の跡地を地域の資産として60年先の未来に繋ぐプロジェクトである。旧立誠小学校は京都で現存する最古のRC造の校舎で、ヨーロッパの様式に則った立面構成が特徴になっており、京都市の歴史的風致形成建造物に指定されている。また、日本の学校制度が整備される前に当時の町衆が資金を工面して設立した番組小学校で、自治会の寄り合いに使われるなど地域のコミュニティ拠点としての役割を担ってきた。 跡地活用にあたって、かつて校庭があった場所を高瀬川に開いたまちの広場とし、観光客や宿泊客が地域の活動に触れる機会をつくることで、新たな賑わいが創出されることを期待した。地域の歴史的な遺産である旧校舎は、高瀬川側からの景観を大きく変えないよう配慮し、増築棟を河原町側に配置することで、旧校舎の解体範囲を最小限にしている。また増築棟の外装は旧校舎の凹凸のリズム感を踏襲することで、旧校舎の面影を施設全体で再構築し、旧来から親しまれてきた地域のシンボルとして再生していくことを意図した。ホテルは、レセプション、バー、レストランおよび、客室から高瀬川と鴨川越しに東山を一望することができる。また旧校舎の教室を客室に、自彊室をRETREAT ROOMとして再利用するなど旧小学校の歴史を感じる空間を共存させた。 京都の自然環境に調和した旧小学校跡地の再生と、地域との親密な関係性、愛着やコミュニティといった無形の価値を未来に継承することで、この建築が街から親しまれ、世界中に日本文化を発信することを期待した。

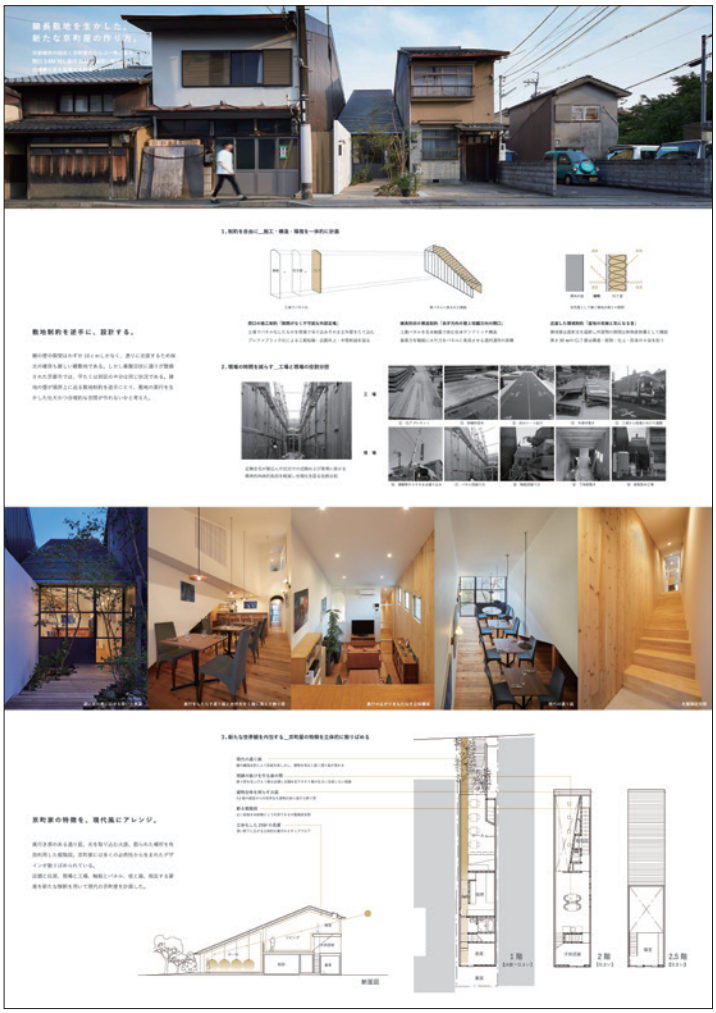
入選　＜第１部門＞

「新たな京町家の作り方。」 il ciliegio

株式会社 twha
中園 美博

京都御所の程近く京町家のならぶ一角にあり、間口3.8M対し奥行25Mと細長い敷地に店舗兼住居を新築する計画である。隣地の壁が境界上に迫る敷地制約を逆手にとり、敷地の奥行を生かした新たな町屋の作り方を提示できればと考えた。 生業と暮らしの必然性からくる京町家の特徴を現代風にアレンジし、店舗と住居、夜と昼、軸組とパネル、相反する要素を長屋に内包した豊かな空間を目指した。

株式会社 twha
〒164-0013 東京都中野区弥生町5-19-13 kawaguchi building 2F
TEL：03-6875-0617
URL：http://twha.jp/
E-mail：press.twha@gmail.com



入選　＜第１部門＞

広京庭都

堀 勝将(京都美術工芸大学)

〈京町家×リノベーション×カフェ〉外壁全体に格子を用いて町家の雰囲気を表に出し、特徴的な中庭を生かした屋外テラスのあり方を提案した。中庭を中心につながりを展開する。格子を挟んで目線と目線、こころと心 交流の場として地域とふれあい、人と人が「繋がる」そんな空間である。

入選　＜第３部門＞

Re:TSURU

清水 覚、大上 倫太朗

「Re:TSURU (リツル))」は、世界中で親しまれている「折鶴」を、再び一枚の紙に展開したときに生まれる折り目に着目したテキスタイルブランドです。鶴は千年の齢を持ち、折鶴には、幸福祈願、災害慰安、病気快癒・長寿といった意味が込められています。千年続く歴史をもつ京都の新しいデザインとして、折鶴に隠された美しい幾何学文様を取り出し、ファッションをはじめ、さまざまな製品へと広げていきたいと考えています。

入選　＜第３部門＞

eninaru『曼珠沙華』

合同会社森林堂

『eninaru』は、キモノデザイン事務所・合同会社森林堂が2020年4月にスタートしたSNS発の着物を中心としたプロジェクトならびにブランド。『曼珠沙華』は、eninaruのプロジェクト第1弾。 一枚の振袖のデザインをベースに、①プロダクトとしての着物の販売、②着物の意匠から派生した浴衣・扇子・てぬぐいなどのアイテム展開、③見本展示を中心とした展示会、④ZINE、⑤撮影プランなどの多角展開を行い、かつての着物の所有という限られた人の楽しむ価値観だけに留まらず、憧れの間接的な所有や、シェアによる体験価値の創造など、現代社会において、多くの人にとって遠い存在である着物の新しい可能性を提案する実験的なプロジェクトとしてブランドを展開しています。

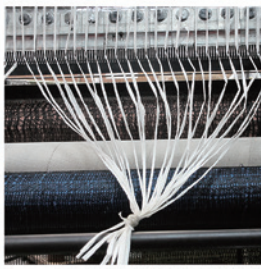
販売価格(税別)：下記オフィシャルサイトをご参照ください。
商品販売店舗：下記オフィシャルサイトにて、不定期のオンライン受注会にて販売しております。

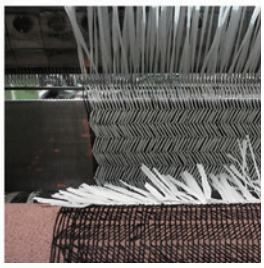
合同会社森林堂
〒615-8106 京都市西京区川島滑樋町37-10
URL：https://eninaru.com/

入選　＜第３部門＞

和紙糸から生まれるテキスタイル

株式会社デザインハウス風
佐野 明代





碁盤の目の街、石畳の散策道、弁柄格子や日本画の金箔など、四角という形には京都の匂いが付いているように感じます。特に、〈昔〉から親しまれている市松（石畳）模様は、京都の一面を写し取ったように四角形が連続した伝統模様で、その意匠の胸を借りて、私の〈今〉の想いをのせた生地作りを試みました。■普遍の意匠に込める想い■→人の顔のエッセンスをリズミカルに散りばめた正方形をデザイン・リピートして、人が集まる様子を表現しています。 新柄コロナウイルスの猛威により街を行き交う人々が少なくなった京都はとても寂しく、再び世界中の沢山の人々が京都に来れますように…との想いを込めました。■プリント下地(P下)■→京都の町工場で、ものづくりの気合いに溢れる職人さんが、編機に付きっ切りで作っている生地です。太番手の和紙糸(エコテックスクラス1認証)を編み上げるこの生地は、80年前から稼働している国産編機に和紙糸を1本の狂いなくセットすることから始まります。神経を使う丁寧な作業が求められる為、1日に40～50m程しか作れない生地で、間違いなく京都が長年培ってきた染織技術の結晶です。■プリント加工■→顔料プリント・箔プリントをしています。この2つの加工法は、染料プリントと違ってソーピング(プリント後に大量の水で余分な染料を洗い流す工程)が不要です。箔プリントはシルバーとゴールドをランダムに配し、生地の揺らぎにより印象が移り変わる視覚効果を狙いました。

商品販売店舗：https://kaze.theshop.jp/

株式会社デザインハウス風
〒603-8355 京都市北区平野上柳町99-1
TEL：075-467-2260　FAX：075-467-2270
URL：http://www.dhkaze.com/
E-mail：info@dhkaze.com

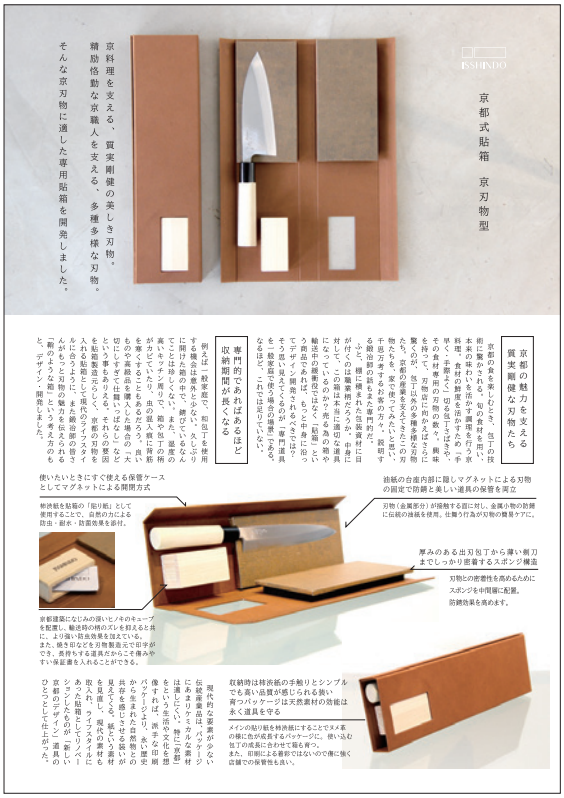
入選　<第４部門>

「京都式貼箱　京刃物型」と「京都式貼箱　美術工芸型」

株式会社一新堂　本土 大智、合同会社生活道具　小嶋 健一

日本の伝統効能紙を使用した、京都の工芸等地元産業の商品を魅力的にみせる新型貼り箱。

株式会社一新堂
〒844-0012
佐賀県西松浦郡有田町
桑古場乙2369
TEL：0955-42-5131
FAX：0955-41-2001
E-mail：
hakoya@crest.ocn.ne.jp



入選　<第４部門>

SOMÉPAD

福定 良佑

染めパッドは、薄い紙を用いながら、ほとんどの筆記具で素晴らしい書き心地を体験できます。伝統を大切にしながら進化を加えたノート「染めパッド」は、使用する人の創造力を刺激し、アイデアを広げてくれます。

販売価格（税別）：1,600円
商品販売店舗：Tag寺町三条店

株式会社尚雅堂
〒616-8117 京都市右京区太秦門田町4-1
URL：http://shogado.co.jp
E-mail：info@shogado.co.jp

入選　<第４部門>

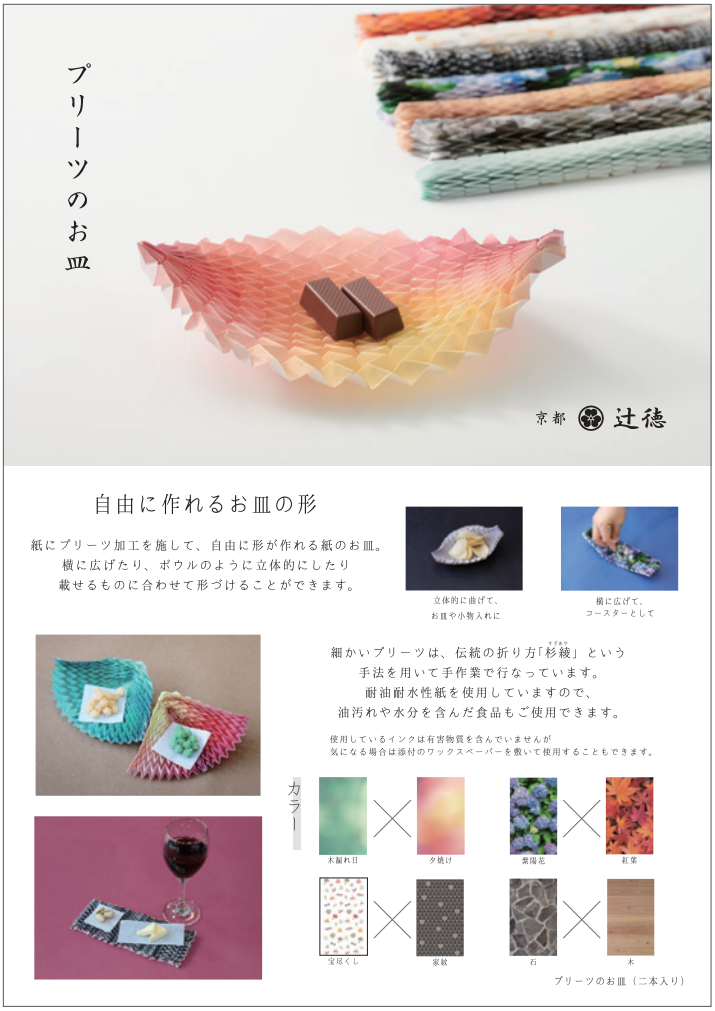
プリーツのお皿

株式会社辻商店

紙にプリーツ加工を施して、自由に形が作れる紙のお皿。伝統の折り方「杉綾」という手法を用いて手作業で行っています。 横に広げたり、ボウルのように立体的にしたり載せるものに合わせて形づけることができます。

販売価格(税別)：1,000円
商品販売店舗：辻徳

株式会社辻商店
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町91番地
グランドヒルズ岡崎神宮道101
TEL：075-752-0766　FAX：075-354-6436
URL：https://shop.tsujitoku.net/product/paper-plate/
E-mail：kaishi@tsujitoku.net



入選　<第６部門-①>

伏見の清酒「都鶴」

宍甘 ひなた(嵯峨美術短期大学)

史実上伏見に所縁のある豊臣秀吉、千利休、坂本龍馬を描き、「もしこの人達が都鶴を飲んだら」というイメージでデザインしました。人物の丸く赤い頬で都鶴を飲んでホッと和んでいる様子と日本の象徴である日の丸を表現しています。ラベルに描かれた歴史人物によって、手に取った人達のコミュニケーションツールになることがねらいです。

入選　<第６部門-①>

鶴の舞い

花房 里奈(嵯峨美術短期大学)

京都に観光に来た方や外国の方が手にとりたくなるようなデザインを制作しました。日本をイメージさせる赤をメインに使用し、瓶の中心に鶴を大きく配置することで目立ちやすくしています。鶴が舞うことで縁起の良いことを表現しました。

入選　<第６部門-①>

伏見の清酒「都鶴」

義山 陸生(嵯峨美術短期大学)

京都の観光地と鶴がデザインされたシールを瓶に直接貼り付けました。その上に京都をイメージできる丸い窓のような形に切り取った厚紙を巻き、その厚紙を回すとデザインが変えられるようになっています。デザインは3種類で、自分好みのデザインを選べるようにしました。デザインには朱の色を取り入れ京都らしさを表現しています。

入選　<第６部門-①>

都鶴

株式会社デザインハウス風
大原 正

三方山に抱かれた古都、その山々より湧き出る水、川となり京の町を潤す、そんな恵み豊な地で生まれる伏見の清酒をイメージ。お酒の箱、瓶には正面が有り銘柄ラベルで商品イメージとなすのが通常です。
この意匠では、銘柄の都鶴の文字と鶴のシルエットを中心に、見渡す山々を周囲に配し、どの方向から見ても楽しめるように（面）全てが一体の構成にしました。
箱は、昼の京。
旅人の心に訪れた名所が甦るような景色。
瓶は、宵の京。
月灯りに照らし出された古寺、川の流れの彼方には瓶越しに連なる山々がかすかに浮び上がる。

株式会社デザインハウス風
〒603-8355 京都市北区平野上柳町99-1
TEL：075-467-2260　FAX：075-467-2270

入選　<第６部門-①>

都鶴 ラベル

新開 美優(帝塚山大学)

外国人観光客にも買ってほしい 麻の紋様は魔よけの意味があり そういったストーリーも含めて楽しんでほしいと思いこのデザインにしました。

入選　<第６部門-②>

京野菜のおとうふ

浅井 すず(嵯峨美術短期大学)

まっしろなパレットに色彩やかな絵の具がのっている、「これから絵を描くぞ」というワクワク感をとうふで表現しました。　パレットに見立てた、ぱれっとうふ。 絵の具のチューブに見立てた、京野菜ちゅーぶ。そして筆を持てば気分は画家！　あなたのセンスでまっしろなパレットを彩ってください。

入選　<第６部門-②>

おとうふコロコロ

清水 百合香(嵯峨美術短期大学)

京とうふ藤野「おとうふコロコロ」は名前のとおり、コロコロとしたフォルムの「おとうふのお菓子」です。「おとうふコロコロ」を付属の串で、和テイストクリームとパウダーでディップしてお召しあがりください。和柄の窓付き巾着でラッピングしており、テイストによって柄を変えています。容器はガラス製で、食べ終わったあとは、重ねて小物入れとして使うこともできます。また、巾着もそのまま窓付きポーチになります。テイストは、こっくり黒糖・まろやか抹茶・ほっこりほうじ茶の3種類になっています。

入選　<第６部門-②>

着物パッケージの京とうふ藤野

能城 紗英(帝塚山大学)

豆腐の色がパッケージの着物の色になるデザインにしました。京都の和の雰囲気を感じてもらえる、ちょっとしたお土産にピッタリと思ってもらえるように仕上げました。また着物の柄のバリエーションを作ることで選ぶ楽しみも味わってもらえるように考えました。

募集部門

＜ 第 1 部 門 ＞
建築・ランドスケープ・インテリアデザイン・ディスプレイ

＜ 第 2 部 門 ＞
グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・
イラストレーション・パッケージデザイン

＜ 第 3 部 門 ＞
ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

＜ 第 4 部 門 ＞
プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン

＜ 第 5 部 門 ＞
映像

＜ 第 6 部 門 ＞
課題によるデザイン提案
課題① 伏見の清酒「都鶴」の訪日外国人に向けたボトルラベルデザイン、またはボトルラベルデザインと外箱デザインのセットでの提案
課題② 「京とうふ藤野」パッケージデザイン
課題③ 新しい京の和文具

応募数

92件　98点

審査結果

入賞9点　入選17点

展示公開

11月13日(金)～15日(日)
於：くろちく　イベントスペース(天正館2F)

表彰式・講評会

11月15日(日)
於：くろちく　イベントスペース(天正館2F)

京都デザイン賞 2020を支えていただいているサポーターに感謝します。

＜主催＞
公益社団法人　京都デザイン協会

＜後援＞
京都府
京都市
京都商工会議所
(公財)京都産業 21
京都府中小企業団体中央会
京都市立芸術大学
京都新聞
NHK 京都放送局
KBS 京都
エフエム京都

＜協力＞
(有)画箋堂
京とうふ藤野(株)
京都芸術家国民健康保険組合
(株)尚雅堂
(有)匠弘堂
都鶴酒造(株)
ホルベイン画材(株)

＜賛助会員＞
有限責任事業組合あきたデザインサポート
(株)イヤタカ
(株)エクザム
(有)画箋堂
(株)京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都百貨店協会
(株)境田商事
(株)尚雅堂
日本写真印刷コミュニケーションズ(株)
(株)パルテごとう
平和紙業(株)
(株)丸二
山内紙器(株)

＜協賛＞
京都芸術大学(旧名称 京都造形芸術大学)
京都精華大学
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
株式会社 俄
(株)祇園平八
刀剣 開陽堂
医療法人 奈良会 なら皮フ科クリニック
アーバンホテルシステム(株)
(株)アルク
イワモトエンジニアリング(株)
(株)大西建築事務所
加地金襴(株)
(株)かわな工業
NPO 法人京都西陣町家スタジオ
小林美工社
酒井健雄
(有)匠弘堂
静好堂中島
ターナー色彩(株)
(株)ターレンスジャパン
(有)大進工務店
(株)地域計画建築研究所
(有)ティアック
中嶌製版(株)
(株)NATS 環境デザインネットワーク
(株)西川紙業
(株)西村工務店
(株)パルム
BAL(株)中澤ホールディングス
ヒロデザイン事務所
ホルベイン画材(株)
まつもとクリニック
(株)ミックス
(株)メディアインパクト

公益社団法人 京都デザイン協会
〒604-8205　京都市中京区新町通三条下ル三条町349-2
tel 050-3385-8008　fax050-3385-8009
mail：info@design.kyoto

www.design.kyoto

20201113_400